

# 株主の皆さまへ

第80期 株主通信

2016年冬号

2016年4月1日~2016年9月30日

株主の皆さまには、平素より  
格別のご高配を賜り、  
厚く御礼申しあげます。  
ここに、第80期  
株主通信 2016年冬号を  
お届けいたします。



2016年度上期の当社グループの業績は、売上高3,716億円(前年同期比10.1%減)、営業利益259億円(同21.5%減)となりました。円高の影響を除くと、売上高、営業利益ともに前年同期並みとなっています。中間配当金は1株あたり34円といたしました。

今年度の全社方針は「収益構造の再構築」と「自走的な成長のためのエンジンづくり」としてしています。「収益構造の再構築」においては、徹底的に収益力を高めるために売上総利益率の改善に取り組んでいます。

「自走的な成長のためのエンジンづくり」としては、制御機器事業において「モノづくりの革新」に取り組んでいます。その実現に向けたキーワードのひとつが生産現場の智能化です。

オムロンが持つセンサーなど10万機種ものFA機器をネットワーク化し、生産設備の振動やモーター音などのさまざまな情報を収集します。この膨大な情報を、人工知能を使い分析することで、生産設備の故障の予兆を察知し、製造過程での不良品の発生を未然に防ぎます。その上でリアルタイムに設備を最適に制御することで、止まらない設備、不良品を作らない生産ラインを実現させます。オムロンは独自の技術でモノづくりの現場を革新し、生産性の向上に貢献します。

これからも事業を通じて社会的課題を解決し、よりよい社会づくりに貢献していきます。引き続き株主の皆さまのご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2016年12月  
代表取締役社長

山田 義仁

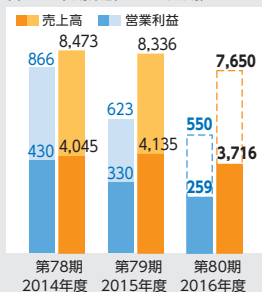
**OMRON** オムロン株式会社

〒600-8530 京都市下京区塩小路通堀川東入 URL: <http://www.omron.co.jp/>

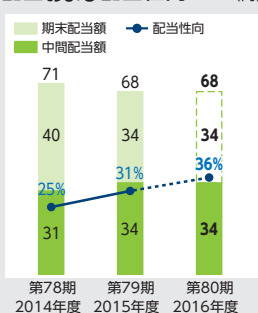
# 第80期(2016年度) 第2四半期決算ハイライト(連結累計)

	実績	前年同期比
売上高	<b>3,716</b> 億円	△ <b>10.1</b> %
営業利益	<b>259</b> 億円	△ <b>21.5</b> %
売上高営業利益率	<b>7.0</b> %	△ <b>1.0</b> P
税引前四半期純利益	<b>236</b> 億円	△ <b>27.8</b> %
当社株主に帰属する 四半期純利益	<b>158</b> 億円	△ <b>35.2</b> %
基本的1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	<b>74.13</b> 円	△ <b>38.52</b> 円

売上高および営業利益 (億円)  
(第2四半期累計および通期)



配当および配当性向 (円)



◎第80期中間配当金につきましては、1株につき34円といたしました。

## 第80期(2016年度) 通期の見通し(連結)

		前期比
売上高	<b>7,650</b> 億円	△ <b>8.2</b> %
営業利益	<b>550</b> 億円	△ <b>11.7</b> %
売上高営業利益率	<b>7.2</b> %	△ <b>0.3</b> P
税引前当期純利益	<b>550</b> 億円	△ <b>16.3</b> %
当社株主に帰属する 当期純利益	<b>400</b> 億円	△ <b>15.4</b> %
基本的1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	<b>187.08</b> 円	△ <b>31.87</b> 円

(注) 上記は、2016年10月27日決算発表時点で入手可能な情報に基づく将来の業績および配当に関する見通しです。

## 卓球ロボット「フォルフェウス」が ギネス世界記録®に認定

最先端のAI（人工知能）を搭載した卓球ロボット「フォルフェウス(FORPHEUS)」が、『最初の卓球コーチロボット』としてギネス世界記録に認定されました。ギネスではさまざまな“世界一”を認定していますが、フォルフェウスはロボットの分野で革新的な技術力が評価され、歴史的な偉業に例外的に与えられる“世界初”としての認定を受けました。

フォルフェウスは、楽しみながら卓球を上達させてくれるロボットです。対戦相手の位置やボールの動きを1秒あたり80回読み取り、ボールの動きや着地点を正確に把握して打ち返します。これを実現するオムロンの技術力が『匠』と呼ぶにふさわしいとの評価を得ました。

2016年10月に開催された「CEATEC JAPAN 2016」においてギネス世界記録認定証授与式が行われました。授与式には多くの報道関係者が取材に訪れ、フォルフェウスに対する注目の高さがうかがえました。

フォルフェウスは、オムロンの描く人と機械の未来の姿を体現したものです。これからの人と機械の関係は、機械が人を助けるだけでなく成長させ、機械自らも学習し成長するという形へと進化します。オムロンは人と機械が最適に調和した豊かな社会をつくるための技術開発に取り組んでいます。

※ギネス世界記録®はギネスワールドレコーズリミテッドの登録商標です。



# 最先端技術で事故のないクルマ社会へ 世界初「ドライバー運転集中度センシング技術」を開発

## ■ 着眼点—交通事故の未然防止に向けて

交通事故の原因の多くはドライバーの集中度の低下によるものと言われています。昨今では車外を見るセンサで前方の安全を確認し、自動ブレーキなどで安全を確保する装備が普及しつつあります。オムロンは車外だけでなく、ドライバーの状況を見る車内の「眼」の重要性に着目しました。車内の「眼」とは、ドライバーが安全に運転できる状態にあるかどうかを判断するものです。そうして開発されたのが「ドライバー運転集中度センシング技術」です。

## ■ 最先端AI(人工知能)による世界初の技術

「ドライバー運転集中度センシング技術」は、ドライバーの多種多様な行動と状態をカメラで捉え、どれくらい安全に運転できる状態かを判定するものです。例えば、脇見や居眠りなどの危険状態をリアルタイムに把握して、その危険度レベルに応じてドライバーに警告を出すなどの対応をとることができます。

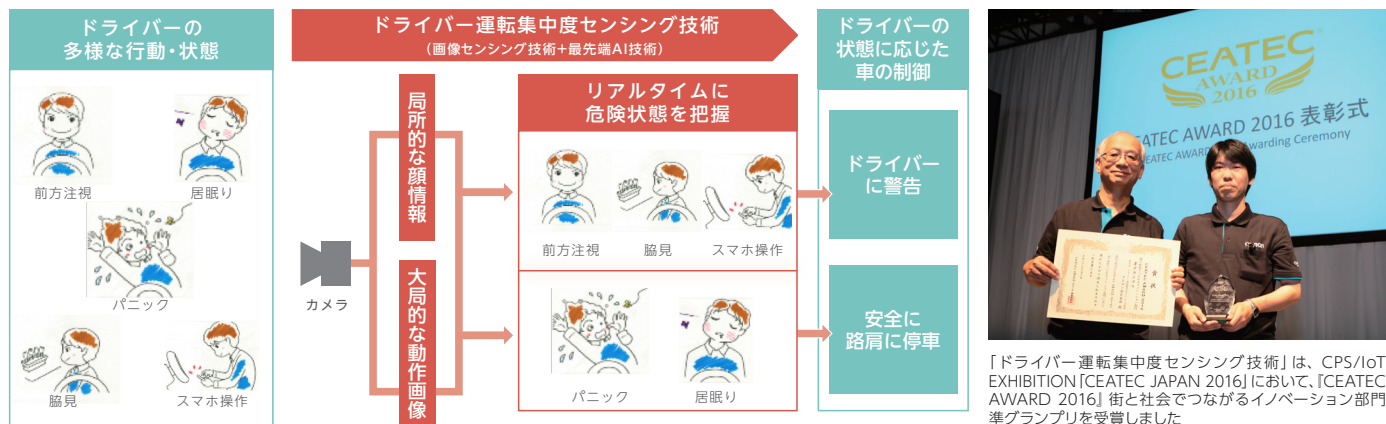
世界初のこの技術は、最先端のAI技術とオムロンがこれまで培ってきた画像センシング技術の融合から生まれまし

た。画像センシング技術で、ドライバーのさまざまな動作を大局的に捉えるとともに、視線やまばたきなどの局所的な顔情報を認識します。これらの情報と最先端のAI技術を用いることで、脇見やスマートフォンの操作、飲食、喫煙、居眠り、病気発症などのさまざまな危険状態をリアルタイムにレベル判定することができます。

## ■ 事故のないクルマ社会の実現に向けて

ドライバーの集中度の監視に有効なこの技術は、今注目を集めている自動運転の進化を支えるものです。公道での自動運転の実現までには段階を踏む必要があります。高速道路での自動運転から始まり、徐々に一般道路での走行へ展開されます。その過程で生じる自動運転と手動運転の切り替え時にはドライバーが安全に運転できる状態にあるかを判断することが非常に重要となります。オムロンはこの技術の早期実用化を目指しています。

今後も技術開発に取り組み、事故のない安全・安心で快適なクルマ社会の実現に貢献していきます。



# 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
配当金受領株主 確定日	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人 および特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号	
(電話照会先)	<b>0120-232-711</b>	オペレーター対応 (9:00～17:00 土・日・祝日を除く)
上場証券取引所	東証第一部	
証券コード	6645	

## 株式に関するお問い合わせ

- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・買増請求

口座を開設されている証券会社へ  
お問い合わせください。

- 特別口座に関するご照会
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なご照会

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部まで  
お問い合わせください。  
電話照会先は上記をご参照ください。

## 株主優待制度による「太陽の家への寄付」のご報告



今年度の株主優待による「太陽の家への寄付」は、総額¥3,588,000となりました。2016年9月30日に「オムロン(株)」名義で寄付させていただきましたのでご報告いたします。多くの株主さまより温かいご芳志を賜り、心より御礼を申し上げます。